

オープンワーク株式会社
2019年6月17日

OpenWork「働きがい研究所」調査レポート Vol. 60

「上場企業の時給ランキング 2019」発表！

— 社員クチコミによるリアルな残業時間を含む「時給」を算出。トップは初の時給 8000 円超！ —

https://vorkers.com/hatarakigai/vol_60

就職・転職のためのジョブマーケット・プラットフォーム「OpenWork」を運営するオープンワーク株式会社（所在地：東京都渋谷区、代表取締役：増井 慎二郎）は、「上場企業の時給ランキング 2019」を発表しました。

今回の調査レポートでは、上場企業の有価証券報告書と OpenWork に投稿された残業時間データから、企業による公開情報だけでは知ることが難しい、残業時間も含めた労働時間による「時給」を算出しました。

「時給」は、有価証券報告書による平均年収を、各社の標準労働時間及び OpenWork に投稿されている平均残業時間（月間）から算出した年間勤務時間で割った金額となります。

※ 時給算出方法：

$$\text{時給} = \frac{\text{平均年収}}{\{(\text{月間標準労働時間} + \text{月間平均残業時間}) \times 12 \text{ ヶ月}\}}$$

【サマリー】

- ・ 今年の時給ランキングはキーエンスの圧倒的 1 位という結果に
- ・ 1 位のキーエンスは昨年の 7,083 円からさらに金額が上がり時給 8,000 円超え
- ・ トップ 3 はキーエンス、三菱商事、三井物産
- ・ トップ 10 に総合商社が 5 社ランクイン（三菱商事、三井物産、伊藤忠商事、丸紅、住友商事）
- ・ トップ 30 のうち 15 社が時給 5,000 円超え
- ・ トップ 30 の平均時給は 5,363 円となり、引き上げられた東京都の最低賃金（985 円）の約 5.4 倍に

■ 上場企業の時給ランキング 2019

上場企業の時給ランキング2019					openwork
	企業名	時給	平均年収 (万円)	標準労働 時間(日)	平均残業 時間(月)
1	株式会社キーエンス	¥8,037	2,089	7.75	61.5
2	三菱商事株式会社	¥7,035	1,541	7.25	37.5
3	三井物産株式会社	¥6,634	1,420	7.25	33.4
4	伊藤忠商事株式会社	¥6,478	1,461	7.25	42.9
5	三菱地所株式会社	¥6,055	1,229	7.50	19.1
6	丸紅株式会社	¥5,993	1,322	7.25	38.8
7	住友商事株式会社	¥5,960	1,304	7.25	37.3
8	シンバイオ製薬株式会社	¥5,858	1,195	7.50	20.0
9	GCA株式会社	¥5,489	1,559	8.00	76.7
10	株式会社ジャフコ	¥5,465	1,246	7.50	40.0
11	株式会社電通	¥5,442	1,273	7.00	54.9
12	ファナック株式会社	¥5,340	1,347	7.75	55.3
13	サントリー食品インターナショナル株式会社	¥5,307	1,086	7.50	20.5
14	双日株式会社	¥5,253	1,103	7.25	30.0
15	三井不動産株式会社	¥5,245	1,113	7.50	26.8
16	アステラス製薬株式会社	¥4,981	1,079	7.65	27.6
17	日本オラクル株式会社	¥4,977	1,032	7.00	32.7
18	第一三共株式会社	¥4,880	1,104	7.75	33.5
19	株式会社野村総合研究所	¥4,861	1,166	7.50	49.9
20	武田薬品工業株式会社	¥4,795	1,039	7.75	25.5
21	三洋貿易株式会社	¥4,795	964	7.00	27.5
22	株式会社WOWOW	¥4,785	1,019	7.00	37.5
23	東京エレクトロン株式会社	¥4,743	1,077	7.50	39.2
24	ケネディクス株式会社	¥4,734	1,108	7.50	45.0
25	伊藤忠エネクス株式会社	¥4,692	996	7.50	26.9
26	日本郵船株式会社	¥4,692	972	7.00	32.6
27	味の素株式会社	¥4,651	946	7.25	24.5
28	豊田通商株式会社	¥4,638	1,052	7.75	34.0
29	国際石油開発帝石株式会社	¥4,546	923	7.42	20.7
30	株式会社IJTT	¥4,527	996	8.00	23.3

※ランキングは小数点第5位までの集計結果です。(集計期間:2016/1~2019/5)

※集計期間内にOpenWorkへのレポート回答が5件以上ある上場企業2179社が対象。純粋持ち株会社は除く。

※平均年収は有価証券報告書(2017年度)より。千の位は四捨五入。

■ 時給 8,037 円！平均年収 2000 万円超のキーエンスとは

今年の時給ランキングで1位となったキーエンスは、工場の自動化に必要な各種センサ、測定機器等の開発から製造、販売までを行う企業です。BtoB ビジネスであるため企業としての知名度は高くありませんが、時給ランキングでも常にトップ 10 以内にランクインする「高時給企業」の常連です。業績は7期連続で最高益を出しており、それに比例するように平均年収も年々引きあがっています。今年はトップ 30 内で唯一の平均年収 2000 万円超となり、決して少なくない平均残業時間（61.5 時間）であっても、唯一 8000 円台を突破。商社を押さえて初のトップとなりました。

「現在の平均年収は 2000 万を超えている。2 年目で 1000 万超え、30 ちょいで 2000 万超え。この年収カーブで計算すると生涯賃金は 8 億～9 億になる。これは総合商社の約 2 倍に相当する。(開発、男性、キーエンス、年収 2300 万円)」

「ランク制。給料の半分以上が賞与である。そのため、会社の景気の良さが給料に大きく影響する。4 半期に 1 回仕事の頑張りが評価される会があり、その評価は賞与に反映される。客観的に自分を評価する機会にもなるので、評価も納得感がある。世間で言われてる通りの高収入を得ることはできる。(開発、男性、キーエンス、年収 1100 万円)」

「基本給はそこまで高くなく、年収の約半分は年 4 回のボーナスによって大きく変わる。ボーナスの額は個人の営業成績によっても左右されるが、そこまで変化はなく、全社の業績によって左右されるところが大きい。そのため、個人でいくら頑張っても、不況により全社の業績が悪ければボーナスは下がり、逆に個人成績が悪くても、好況により全社の業績が良くなればボーナスは上がる。また、公平性の観点から福利厚生はほぼない。(営業、男性、キーエンス、年収 1000 万円)」

■ 平均時給 5,363 円！高時給企業たちの給与事情

「終身雇用を前提とした日系企業の中では、最高レベルの待遇と言えると思う。駐在した場合には更に諸手当が付き収入が 2 倍になることも珍しくない。昇進してもしなくても、ある程度は年功序列で収入が上がっていき、純粋な収入面では大きな差が付かないシステムになっている。(営業、女性、三菱商事、年収 1700 万円)」

「年功序列で決定しています。20 代は急激に上昇し、30 歳になる頃にはほぼ全員が大台に乗るはずです。日本でもトップクラスの待遇だと思います。(経理、男性、三井物産、年収 1200 万円)」

「世間で知られている通り、額面での給与水準は、国内でもトップクラスであることは間違いない。ただし、他商社との横並び意識や関係取引先も多数にのぼることから外資系投資銀行等のように著しく高い給与水準となることはない。最近では、早朝出勤に伴う朝食補助、勤務時の服装（脱スーツ）、がんに対する取り組みなどいわゆる給与以外の点に対してのサポートを厚くしている。(管理部門、男性、伊藤忠商事、年収 1300 万円)」

「給料を求めるなら満足出来る社風かと思います。下がる事もないので、とても良いと思います。同期の中には2,000万円のメンバーも多かったです。同業他社の中でも高水準なので文句なしでした。成績は賞与にも反映させるので、年収が上がりやりがいがありました。(営業、男性、三菱地所、年収900万円)」

「上場企業の平均年収比較でも、貰いすぎな水準だと思っている。ただし、その分、仕事量は多く、拘束時間は長い、且つ海外の長期出張(移動は休日)など、本部によりけりだが、ハードな環境であることは間違いない。(営業、男性、丸紅、年収1200万円)」

「実力によって給料や賞与が変わってくるが、元々の金額が大きいので、同年代での給料に大きな差は出にくい。同年代の他企業の知り合いと比較しても給料水準は相当高く、この面では満足できる。(金属部門、女性、住友商事、年収1000万円)」

「仕事の内容の割に、給与はかなりいい方だと思う。(開発、男性、シンバイオ製薬、年収1400万円)」

「年収はやはり様々なランキングの上位の常連企業だけに、高水準。一方で、飛び抜けて高いのは一部のマネージングディレクターだけであり、そのほかは他のプロフェッショナルファームと同レベルと思われる。(コンサルタント、男性、GCA、年収1000万円)」

「30歳年収900万円。年収は良いと思う、成果を出せばボーナスも結構もらえる、ベースは年次と比例してあがる。(シニアアソシエイト、男性、ジャフコ、年収900万円)」

「仕事のやり方やプロジェクトを任せられるか否かは個々の能力に寄る部分が増えているが、給与は年功序列に近い(一部、能力給はある)いずれにせよ待遇は他企業より良いと思う。いい意味で、失敗を恐れずに自由に仕事ができる。(マーケティング、男性、電通、年収1200万円)」

「賞与の割合が大きいです。最近は業績が悪くても賞与が下がりすぎない工夫がされているので、年収は安定しているように感じます。基本給は年々上がって行きます。(研究開発、男性、ファナック、年収800万円)」

「限度までは毎年昇給あり。転勤により転居した場合の家賃は基準内ならば全額会社負担。賞与は業績連動型。(営業部門、男性、サントリー食品インターナショナル、年収1440万円)」

「国内は本給と賞与のみで手当は一切無しのシンプル体系。海外は概ね国内の1.5倍くらいのイメージで、それに加え家賃も会社負担なので楽。(部長、女性、双日、年収1700万円)」

「家賃手当、家族手当、残業手当等、全て完備されており充足された制度を提供されていると思う。賞与も年によって変わるが夏冬で 8.5 ヶ月分は支給される。不満のある社員はあまりいないのではないかとおもいます。(スタッフ部門、男性、三井不動産、年収 980 万円)」

「同業他社と比較してどうかは分からないが、年収が高水準な業界であることは間違いない。手当や福利厚生も充実している。ただし、基本的には年功序列であるため、20 代後半～30 代前半にかけて昇給スピードは遅く感じる。賞与はグレードにもよるが、個人業績だけでなく会社業績によっても変動する。(本社スタッフ、男性、アステラス製薬、年収 850 万円)」

「各種手当はありませんが、一部上場企業なので福利厚生は他の外資系企業よりも充実している気がします。賞与に関しては、営業は成績により、3 カ月に一度の支払いとなります。昇給は基本的に存在せず、50 人に一人くらい年に一度数パーセントの昇給がある程度です。(Sales、男性、日本オラクル、年収 1000 万円)」

「3 年目～8 年目(29 歳)まではほぼ給料変わらず。働き盛りで他業種などに目移りする 20 代後半に給料の伸びを感じないが、30 歳以降、多くの人が 1000 万を超える。(MR、男性、第一三共、年収 890 万円)」

「同業種に比べると比較的に給与水準は高く満足。残業代はみなし残業となるため出ない。昇給もしやすく、待遇面では満足度は高い。家賃補助などは専門職になると無くなるが、退職金制度もあり、その他の福利厚生も整っておりこれほど待遇が良い所はあまり無い。(専門職、女性、野村総合研究所、年収 1000 万円)」

「ボーナスは完全なる成果主義。外資系のそれと同じだが、職業柄妥当だと思う。給与は同業他社と比べてかなりいいのではないかなと思う。ただし子供がいる家庭への手当などはなし。(MR、女性、武田薬品工業、年収 1000 万円)」

「役職がつくまでは、殆ど年功序列。残業代は出るので、残業をすればするほど収入は上がる。役職がついたら、成果報酬となる。比較的、若年層への給与が厚く配分されている。(営業、男性、三洋貿易、年収 850 万円)」

「賞与は業績連動型になります。景気の良い時は年間のボーナスが 500 万を超えることもあります。なお、上層部になるとケタが違うので夢はあります。競合の外資企業と比べると年収は低いですが、国内の他社メーカーと比較すると恵まれている年収だと思います。(マーケティング、男性、東京エレクトロン、年収 1200 万円)」

「30 歳位で残業代込みで年収 700 万円位、35 歳位でマネジャーとして管理職になるので 800 万円から 900 万円位、40 歳前後でシニアマネジャーで 1000 万以上という感じですが実力主義ですので、シニアマネジャーになれるのは 1、2 割程度だと思います。(アセットマネジャー、男性、ケネディクス)」

「役割等級制度（7 グレード）で管理職群（5～7 等級）は昇級・降級がなければ給与は変わらず。定期昇給なし。手当の類はほぼ無し。管理職になると借り上げ社宅制度も適用外になるため、自己負担となる。賞与は業績連動+個人評価型（算式あり）。個人差はあるものの、概ね 3～5 年周期くらいで全国転勤しますので、住居については悩ましい問題となります。（販売部門、男性、伊藤忠エネクス、年収 1000 万円）」

「年功序列。仮に一時金を 5 ヶ月分、残業を 20 時間とすると、年収は 30 歳で 800 万円、35 歳で 1,000 万円、40 歳で 1,150 万円、45 歳で 1,300 万円、50 歳で 1,600 万円（順当に昇級していく前提）。（営業、男性、日本郵船、年収 750 万円）」

「メーカーの中でもトップクラス。単身の場合は寮、世帯持ちの場合は家賃 7 割ほどの住宅手当もしくは社宅手当がある。社宅の場合、ほぼ無料のようなもの。結果的に可処分所得はかなり増える。また、海外駐在すると若手のうちから同世代より遥かに多くの給与がもらえる。もちろん枠として多いわけではなく、赴任先の仕事はハードとなる。（マーケティング、女性、味の素、年収 850 万円）」

「業績連動で賞与の透明性は高い。成果がボーナスに反映されるので、コーポレート部門含め、社員が協力できる体制にあるとおもう。昇給は一年に一回、35 歳くらいまでは毎年一万円ずつあがるようなイメージ。数年に一度昇格があり、TOEIC や簿記や社内試験を通れば、昇格できる。昇格すると若手でも 100 万円単位で年収がかわってくるので早めに昇格していくことが重要。（金属、男性、豊田通商、年収 1300 万円）」

「年功序列で毎年コツコツ上がっていく。会社業績は油価と為替で大きく左右されるため、事業のマイルストーンが速攻会社の業績に結びつく訳ではない。したがって賞与も毎年大きな変化はない。（技術、男性、国際石油開発帝石、年収 800 万円）」

「大卒入社 10 年で 550～600 万円。残業時間により大きく差が出る。課長職から部長職以上の管理職であれば 700～1000 万円と比較的良好な条件。典型的な年功序列。若手には魅力が薄いですが、年を取ればそれなりに給与も保証されるので平均的な制度。（本社部門、男性、IJTT）」※合併前のアイメタルテクノロジーへの回答

■ データの収集方法

「OpenWork」の会社評価レポートへの回答を通じてデータを収集しています。会社評価レポートの回答条件は①社員として1年以上在籍した企業の情報であること、②500文字以上の自由記述、③8つの評価項目および月間残業時間、有休消化率への回答になります。

■ 対象データ（集計期間：2016年1月～2019年5月）

集計期間内にOpenWorkへのレポート回答が5件以上ある上場企業2179社を対象とし、有価証券報告書に記載されている平均年収データ（2017年度）と、各社の月間標準労働時間（標準労働時間×20日として集計）及びOpenWorkに投稿されている「平均残業時間（月間）」から「時給」を算出しました。標準労働時間は各企業採用情報等を確認し、職種・勤務地により異なる場合は代表的な職種または本社の労働時間を採用しています。時給は小数点以下四捨五入、平均年収は万円単位で掲載しています。純粋持株会社はランキングから除いています。

【OpenWork 働きがい研究所について】

オープンワーク株式会社が、働きがいの向上のために、個人・企業・社会などの視点から働きがいについて調査・リサーチを行うためのプロジェクトです。2014年3月よりスタートしました。

【OpenWork について】

「OpenWork」では、就職・転職の参考情報として、職場環境に対する社員・元社員の評価点やレポートを共有しています。企業の社員・元社員から情報を収集しているWEBサイトとしては、国内最大規模のクチコミ数と評価スコア（780万件超）が蓄積されており、会員数は約300万人（2019年6月時点）となっています。経営者や人事部のフィルターにかかっていない「社員の生の声」を共有することで、企業の実情をオープンにし、就職・転職活動をサポートしたいと考えています。また、ジョブマーケットの透明性を高めることで、「社員を大切にできる企業の方が大切にしない企業よりも評価され、誠実なCEOが誠実に会社を運営しやすい雇用環境となること」を目指しています。

【オープンワーク株式会社 会社概要】

商号： オープンワーク株式会社

代表者： 代表取締役 増井 慎二郎

所在地： 東京都渋谷区渋谷 3-6-3 渋谷 363 清水ビル 11F

事業内容： 就職・転職のためのジョブマーケット・プラットフォーム

「OpenWork（オープンワーク）」(<https://www.vorkers.com/>)の企画運営

資本金： 6億4500万円

【本件に関するお問合せ先】

担当： 恵川、隈元

Email： press@openwork.co.jp